

85th
since 1927
Anniversary

Business Report 2011

第134期 年次報告書 (平成22年12月1日～平成23年11月30日)



HOTEL NEW GRAND



株主の皆様へ

To Our Shareholders



当事業年度におけるわが国経済の状況を顧みますと、前事業年度において緩やかな回復の兆しが見え始めた国内経済は、欧州の財政危機、歴史的円高による輸出鈍化や個人消費の落ち込みが続くなかで、3月に発生した東日本大震災により大きな打撃を受け、観光就中、宿泊ホテル業を直撃することとなりました。

当社におきましても、前事業年度末に当地横浜において開催されました国際会議が、婚礼・宿泊トップシーズンと重なったこともあり、前事業年度は赤字計上を余儀無くされ、当事業年度はその挽回を図るべく、宿泊・宴会・食事の主要部門の売上向上、経費削減による早期再黒字化を目指している矢先のことで、特に震災直後の売上は、前事業年度比で3月は44%減、4月は24%減と甚大な落ち込みとなり、日本経済の低迷と内外顧客激減への対応が急務となりました。かかる事態の下、当社としましては、震災直後より特に売上の大幅減少を補うべく、人件費を始めとしたあらゆる経費の徹底削減を目指した全社的経営合理化を進め、また、宿泊・宴会の他、新企画、催事にも注力した結果、5月以降の来客の漸増と相俟って、収益は当初予測より大幅に改善し、若干の赤字は残りましたが、前事業年度を上回ることができました。

売上高は前事業年度を約一割下回る47億62百万円に留まりましたが震災直後の予測を大幅に上回り、経常損益につ

いては、前述の大幅経費削減の効果もあって、前事業年度より改善することができました。

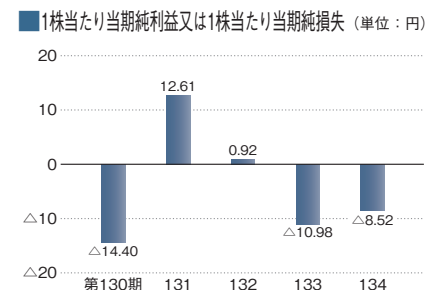
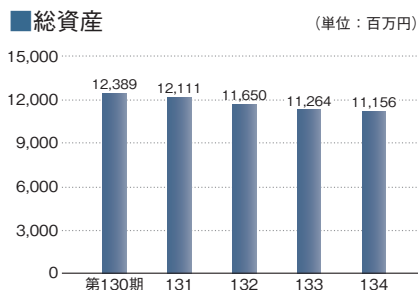
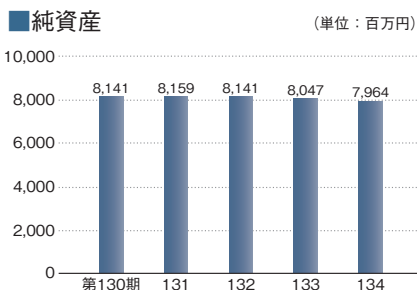
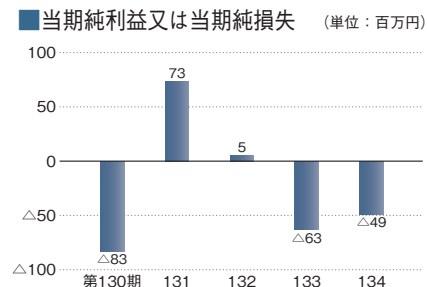
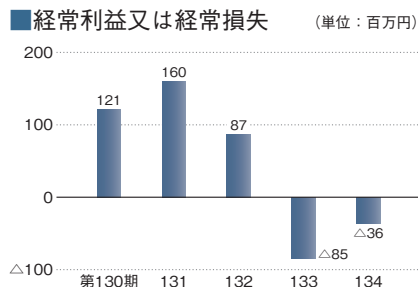
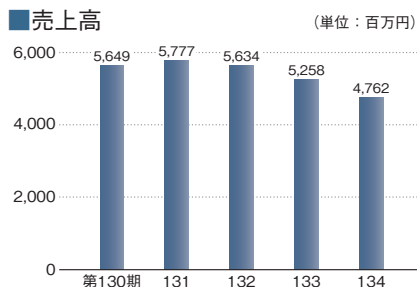
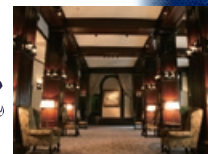
即ち当事業年度の売上高は47億62百万円（前事業年度比9.4%減）、営業損失は36百万円（前事業年度比45百万円の改善）、経常損失は36百万円（前事業年度比48百万円の改善）、当期純損失は49百万円（前事業年度比14百万円の改善）となりました。



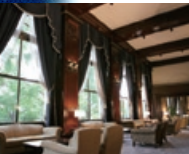


財務ハイライト

Financial Highlights



区分	第130期 (平成19年11月期)	第131期 (平成20年11月期)	第132期 (平成21年11月期)	第133期 (平成22年11月期)	第134期 (平成23年11月期)
売上高(百万円)	5,649	5,777	5,634	5,258	4,762
経常利益又は経常損失(△)(百万円)	121	160	87	△ 85	△ 36
当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	△ 83	73	5	△ 63	△ 49
純資産(百万円)	8,141	8,159	8,141	8,047	7,964
総資産(百万円)	12,389	12,111	11,650	11,264	11,156
1株当たり純資産額(円)	1,398.26	1,402.36	1,400.16	1,384.59	1,370.87
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)(円)	△ 14.40	12.61	0.92	△ 10.98	△ 8.52
自己資本比率(%)	65.7	67.4	69.9	71.4	71.4
自己資本当期純利益率(%)	△ 1.0	0.9	0.1	△ 0.8	△ 0.6



事業別概要と今後の課題



Business Review



■ 宿泊部門

客室単価及び稼働率が前事業年度を下回り、売上高は9億81百万円（前事業年度比13.3%減）となりました。

■ 宴会部門

婚礼件数及び一般宴会の件数とも前事業年度を下回り、売上高は20億80百万円（同9.1%減）となりました。

■ 食事部門

原発事故による電力不足に伴う縮小営業により、売上高は12億39百万円（同9.8%減）となりました。

この結果、ホテル部門の売上高は44億94百万円（同9.8%減）となりました。また、支店である高島屋横浜店 ルグラン及びそごう横浜店 パーシーガーディアンⅢは僅かに減収、賃貸ビルのグランドアネックス水町（テナントビル）も僅かながら減収となりました。

部門 区 別		売上高	構成比
		千円	%
ホテル	宿泊部門	981,241	20.6
	宴会部門	2,080,289	43.7
	食事部門	1,239,010	26.0
	その他の部門	193,987	4.1
ホテル部門合計		4,494,529	94.4
支 店	高島屋横浜店 ルグラン	155,057	3.2
	そごう横浜店 パー シーガーディアンⅢ	56,449	1.2
賃貸ビル	グランドアネックス水町	56,337	1.2
合 計		4,762,374	100.0

■ 設備投資の状況

当事業年度は総額84百万円（うち、資産の取得は40百万円）の設備投資を行いました。設備投資の主なものは、給湯タンク更新（15百万円）、消火・防災設備の整備（11百万円）、本館外壁改修（8百万円）、宴会場改修（7百万円）などです。

■ 対処すべき課題

当社は、本年12月に開業85周年という節目の年を迎えます。地元横浜においての地位を確保し、株主の皆様への利益還元に向け、競争力を高め、働き甲斐のある職場環境を構築し、事業価値の向上に努めてまいります。

開業85周年を迎えるにあたり、社内横断的プロジェクトとして「開業85周年営業推進委員会」を設置し、新たな着想による催事の開催や企画の積極的展開により、競合他社との差別化を図り、競争優位を確保します。

また、昨年4月に加盟した国際的高級ホテル組織 Preferred Hotel Group を活用し、国際的認知度及びホスピタリティの一層の向上と海外からの宿泊客誘致に継続して注力してまいります。

一方、経費面におきましては、一層の効率化を追求し、従来の手法にとらわれることなく業務全般に亘り精査の上、無駄を無くし、収益力改善を図る所存です。

加えて、重要な経営資源としての本館の価値向上ならびに、企業体力に合致する給与・退職金制度の見直しにつきましても検討の上、進めてまいります。

当社を取り巻く環境は厳しい状況ではありますが、85年に亘り着実に積み上げてきた高品質な料理やサービスを基盤として、伝統を継承し、発展創造させる施策を着実に実行してまいります。

何卒株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2011.11.30	前事業年度 2010.11.30
(資産の部)		
流動資産	1,370,854	1,080,984
現金及び預金	984,571	660,494
売掛金	222,682	234,133
料飲材料	34,362	32,966
貯蔵品	41,510	45,894
前払費用	18,580	19,407
繰延税金資産	53,183	78,980
その他	16,342	9,847
貸倒引当金	△380	△740
固定資産	9,786,038	10,183,791
有形固定資産	9,567,898	9,949,560
建物	5,800,585	5,975,318
建物附属設備	587,154	704,153
構築物	24,450	28,905
機械及び装置	28,181	39,793
車両運搬具	1,806	3,748
器具及び備品	149,873	221,795
土地	2,975,845	2,975,845
無形固定資産	54,640	59,445
借地権	43,734	43,734
その他	10,906	15,711
投資その他の資産	163,499	174,784
投資有価証券	124,469	130,228
差入保証金	10,000	12,800
保険積立金	25,816	31,632
長期前払費用	3,213	124
資産合計	11,156,892	11,264,775

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2011.11.30	前事業年度 2010.11.30
(負債の部)		
流動負債	1,292,437	1,334,908
買掛金	355,448	370,905
短期借入金	400,000	400,000
未払金	90,817	88,010
未払費用	198,577	242,282
未払消費税等	10,347	10,186
未払法人税等	11,500	12,900
未払事業所税	15,439	15,819
前受金	173,611	179,489
預り金	10,331	12,366
ポイント引当金	2,388	2,395
災害損失引当金	23,506	—
その他	469	552
固定負債	1,899,612	1,882,249
長期未払金	—	3,944
預り保証金	290,830	290,900
退職給付引当金	654,791	566,806
役員退職慰労引当金	121,705	131,506
繰延税金負債	163,581	220,387
再評価に係る繰延税金負債	668,704	668,704
負債合計	3,192,050	3,217,158
(純資産の部)		
株主資本	7,536,350	7,615,703
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
資本準備金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	741,384	819,973
利益準備金	66,144	66,144
その他利益剰余金	675,240	753,829
買換資産圧縮積立金	660,466	687,894
繰越利益剰余金	14,774	65,935
自己株式	△23,044	△22,279
評価・換算差額等	428,491	431,912
その他有価証券評価差額金	△3,606	△185
土地再評価差額金	432,098	432,098
純資産合計	7,964,842	8,047,616
負債・純資産合計	11,156,892	11,264,775

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

Financial Statements



損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	2010.12.1～ 2011.11.30	2009.12.1～ 2010.11.30
売上高	4,762,374	5,258,854
売上原価	1,552,785	1,756,255
売上総利益	3,209,588	3,502,598
販売費及び一般管理費	3,245,889	3,584,701
営業損失	36,301	82,102
営業外収益	3,933	5,079
営業外費用	4,417	8,077
経常損失	36,784	85,101
特別損失	37,661	12,450
税引前当期純損失	74,446	97,552
法人税、住民税及び事業税	3,752	3,139
法人税等調整額	△28,671	△36,840
当期純損失	49,527	63,850

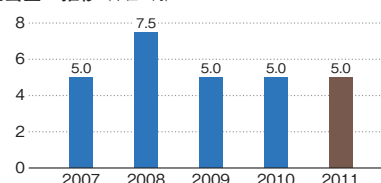
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■配当金について

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつに位置づけております。このため長期に亘る安定的配当の継続を基本方針とし、節目においては記念配当を実施するなど利益の還元に努めてまいります。

また財務体質のより一層の強化のため、内部留保の充実に努める一方で、施設・設備の充実等将来のための有効投資もしてまいります。

配当金の推移 (単位：円)



株主資本等変動計算書 当事業年度 (2010.12.1～2011.11.30)

(単位：千円)

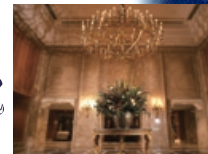
	株 主 資 本							評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	土 地 再評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計		
		資 本 準 備 金	資 本 剰 余 金 合 計	利 益 準 備 金	買 換 資 産 圧 縮 積 立 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 繰 越 利 益 剰 余 金							利 益 剰 余 金 合 計
平成22年11月30日 残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	687,894	65,935	819,973	△22,279	7,615,703	△185	432,098	431,912	8,047,616
当事業年度中の変動額													
剰余金の配当						△29,061	△29,061		△29,061				△29,061
当期純損失						△49,527	△49,527		△49,527				△49,527
任意積立金の取崩					△27,427	27,427	-		-				-
自己株式の取得								△765	△765				△765
株主資本以外の項目の当事業 年度中の変動額 (純額)										△3,420		△3,420	△3,420
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△27,427	△51,160	△78,588	△765	△79,353	△3,420	-	△3,420	△82,774
平成23年11月30日 残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	660,466	14,774	741,384	△23,044	7,536,350	△3,606	432,098	428,491	7,964,842

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Data



株式の状況 (2011年11月30日現在)

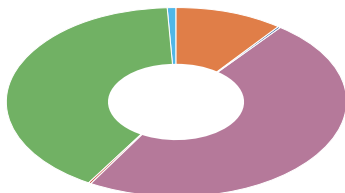
① 発行可能株式総数	23,000,000株
② 発行済株式の総数	5,856,400株
③ 株主数	850名
④ 大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
原 範行	431千株	7.41%
株式会社横浜銀行	285	4.91
清水建設株式会社	235	4.04
東日本旅客鉄道株式会社	219	3.76
野村弘光	216	3.72
榊原三郎	212	3.64
株式会社フォースアンドカンパニー	182	3.13
麒麟麦酒株式会社	165	2.84
上野興産株式会社	164	2.82
セコム株式会社	160	2.75

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は自己株式(46,333株)を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

■金融機関	6名	605千株	10.34%
■証券会社	5名	2千株	0.04%
■その他の法人	89名	2,823千株	48.22%
■外国法人等	5名	1千株	0.03%
■個人・その他	744名	2,376千株	40.58%
■自己株式	1名	46千株	0.79%



会社の概況 (2011年11月30日現在)

創 立	1926年7月6日
創 業	1927年12月1日
資 本 金	34億5,500万円
主 な 事 業 内 容	ホテル経営
従 業 員 数	288名 (内正社員外99名)

取締役及び監査役の状況 (2011年11月30日現在)

代表取締役会長兼社長	原 範 行
代表取締役常務	吉 田 一 継 (営業部門統括 総支配人)
代表取締役常務	里 見 辰 彦 (管理部門統括)
取 締 役	野 村 弘 光
取 締 役	上 野 孝
取 締 役	宇 野 公 博
取 締 役	日 野 正 夫
取 締 役	宇佐神 茂 (総料理長)
取 締 役	佐 野 剛 (執行役員宴会部長)
取 締 役	岸 晴 記 (経理部長)
常 勤 監 査 役	小 島 偉 義
監 査 役	勝 治 信
監 査 役	野 村 哲 也

(注) 1. 取締役上野 孝、宇野公博、日野正夫の3氏は社外取締役であります。
 2. 監査役勝 治信、野村哲也の両氏は社外監査役であります。
 3. 常勤監査役小島偉義氏は、当社の経理部担当役員として平成19年2月まで通算10年に亘り決算手続ならびに財務諸表の作成に従事しており、財務・会計に関する相当程度の知見を有しております。
 4. 当社は、取締役上野 孝氏を株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から11月30日まで
- 定時株主総会 毎年2月に開催
- 単元株式数 1,000株
- 期末配当金受領株主確定日 11月30日
- 中間配当金受領株主確定日 5月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 公 告 掲 載 U R L <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
- 証 券 コ ー ド 9720
- 上 場 証 券 取 引 所 大阪証券取引所 (JASDAQ市場)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中区山下町10番地

TEL 045-681-1841 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>